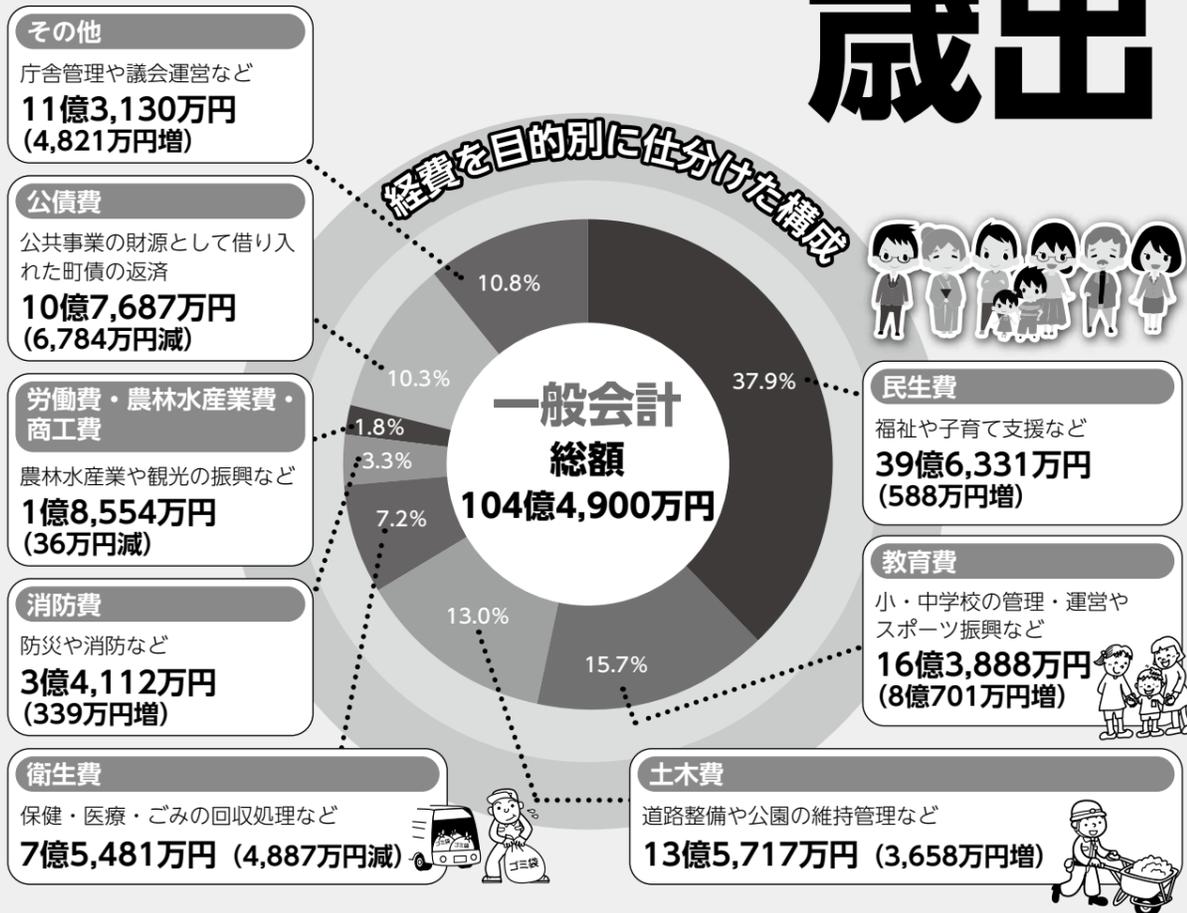


予算編成重点方針

第4次海田町総合計画後期基本計画に沿って、海田町らしく「オンリーワン」のまちとしての発展を目指し、「まち まるごと オンリーワン」の実現に向けた各種施策を推進する予算としました。また、「海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による地方創生実現に向けた各種施策を推進する予算としました。
 ※平成30年度予算について、詳しくは、<http://www.town.kaita.lg.jp/life/3/18/113/海田町ホームページトップページ>> 町政情報 > 財政 > 予算 > 平成30年度予算を参照してください。
 ※「第4次海田町総合計画後期基本計画」は企画課（役場3階）およびホームページで閲覧できます。

- 一般会計
公民館整備事業等の投資的経費の増などにより、前年度に比べて8.1%の増となっています。
- 特別会計
国民健康保険制度の都道府県単位化に伴う市町村国保財政の再編及び被保険者数の減などにより、前年度に比べて12.2%の減となっています。
- 水道事業会計
工事量の減により、前年度に比べて8.4%の減となっています。

歳出



() 内は対前年度比の増減額

歳出の主な増減理由について

教育費は公民館整備事業等により増となっています。
 土木費は中店小学校線道路改良事業等により増となっています。
 衛生費は広域ごみ焼却場事業等により減となっています。
 公債費は起債の償還進捗により減となっています。
 その他は電算システム改修事業等により増となっています。

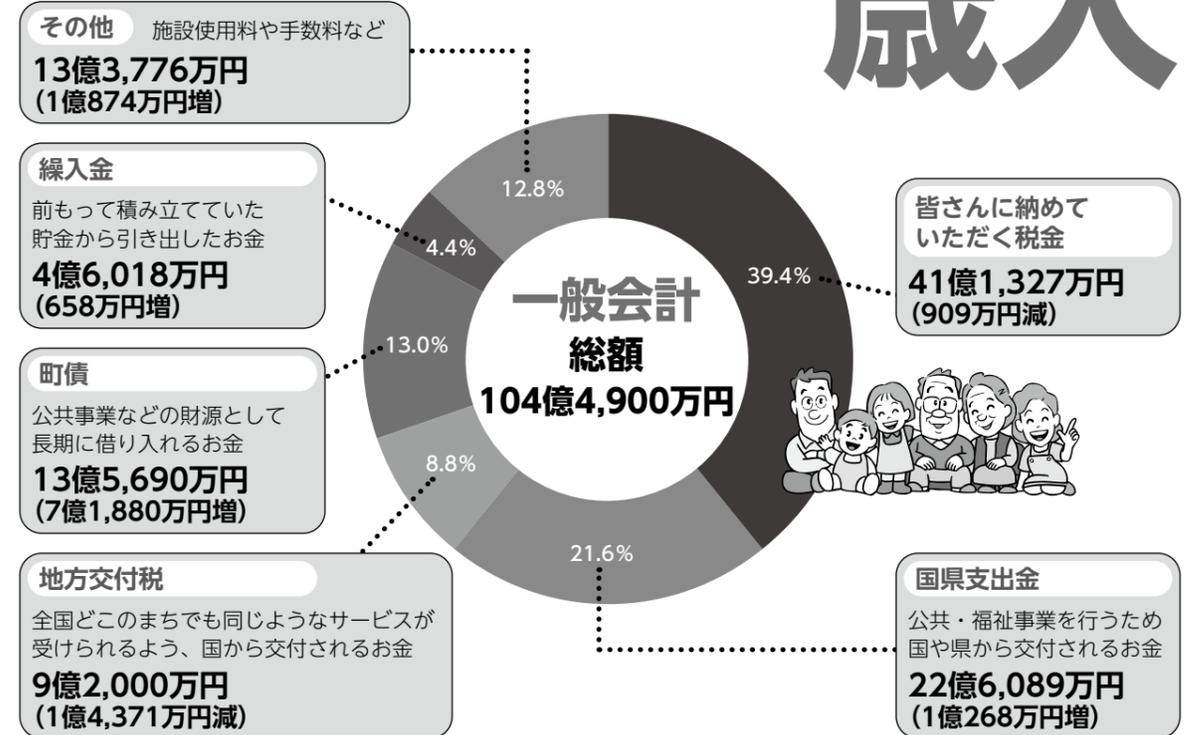
平成30年度予算

財政課
 ☎ 823-9201
 ☎ 823-9203

一般会計	104億4,900万円 (対前年度比 8.1%増)
特別会計	62億1,377万円 (対前年度比 12.2%減)
水道事業会計	5億8,360万円 (対前年度比 8.4%減)

※特別会計とは、公共下水道事業・国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の4会計のことです。

歳入



歳入の主な増減理由について

地方交付税については、地方消費税の増や前年度の町税の増等に伴う基準財政収入額の増等により、減少が見込まれます。
 町債については、公民館整備事業に係る起債の増により、増加が見込まれます。
 財源不足は、財政調整基金からの繰入によって補います。

海田町中期財政運営方針(平成30年度~平成34年度)

中長期的にみて収支の均衡を保持し持続可能で安定的な財政運営を図り、引き続き重点的、効果的なまちづくりを進めていくため、海田町中期財政運営方針を策定しました。
 詳しくは、<http://www.town.kaita.lg.jp/life/3/18/118/> (海田町ホームページトップページ> 町政情報 > 財政 > 中期財政運営方針・財政収支見直し > 海田町中期財政運営方針 (平成30年度~平成34年度)) を参照してください。